

打ち合わせ日時 2010/10/11 祝日 14:00～

打ち合わせ場所 小屋 1F 床工事現場

打ち合わせ M 中電産業大工 1 名、YWV 小屋関係者 数名（笹倉、安藤、榎本、鈴木ら拝聴）

(小屋をジャッキ UP する方法)

- ・ジャッキは天井の 2 本の交差梁に対し、三角形を描くよう、斜めにかける。
- ・怖いのはジャッキ転倒。ジャッキ基部はボルト付けする。
- ・ジャッキ能力は、2t 程度の 1 本で OK。

(小屋の状況と工事指針)

- ・土台は全般的に東方向に引っ張られているようだ。このため、縦（南北方向）のほかに横（東西方向）の大引きも新設する。
- ・転倒している雨戸縁側の基礎は、どこまでやるか？起こし直すならそちらの業者も必要になる。また、ジャッキ UP した場合、ゆがみで雨戸側の窓ガラス破損の可能性がある。  
→今回は大工のやれる範囲の工事とし、転倒している雨戸縁側の基礎はそのままとし、大引きとの間に木のクサビを刺すことで対処する。（将来、窓ガラス交換時にでも YWV で基礎 up して直してもよいかも）
- ・大引きの角材は唐松がロシアから入荷できない。今回は少し強度が劣るが、ツガの木？を使う。

(YWV 自前で実施中の壁工事等に関するアドバイス)

- ・耐力壁の工事については、構造合板は重ねないと意味がない（→継ぎ手のような強度にする）。
- ・水仕舞いの不備？
- ・今、小屋に張っているものは構造合板は耐水性がない（耐水性のものが別にある）（この板はは大工では、ただの「ベニア」と呼んでいる）。
- ・内装のコンパネは塗装もしっかりしているのでよい。

以上 大工からのアドバイス